

鄧小平 著



現代中国の  
基本問題について

## 現代中国の基本問題について

1987年初版発行

著 者——鄧小平

訳 者——中共中央M・L著作編訳局

出版者——外 文 出 版 社

(北京西城区百万莊路24号)

發行者——中國國際圖書貿易總公司

(北京P.O.Box399)

印刷者——外 文 印 刷 廠

編號：(日) 3050—3019                    3—J—2229

                  3050—3028                    00925 (精)

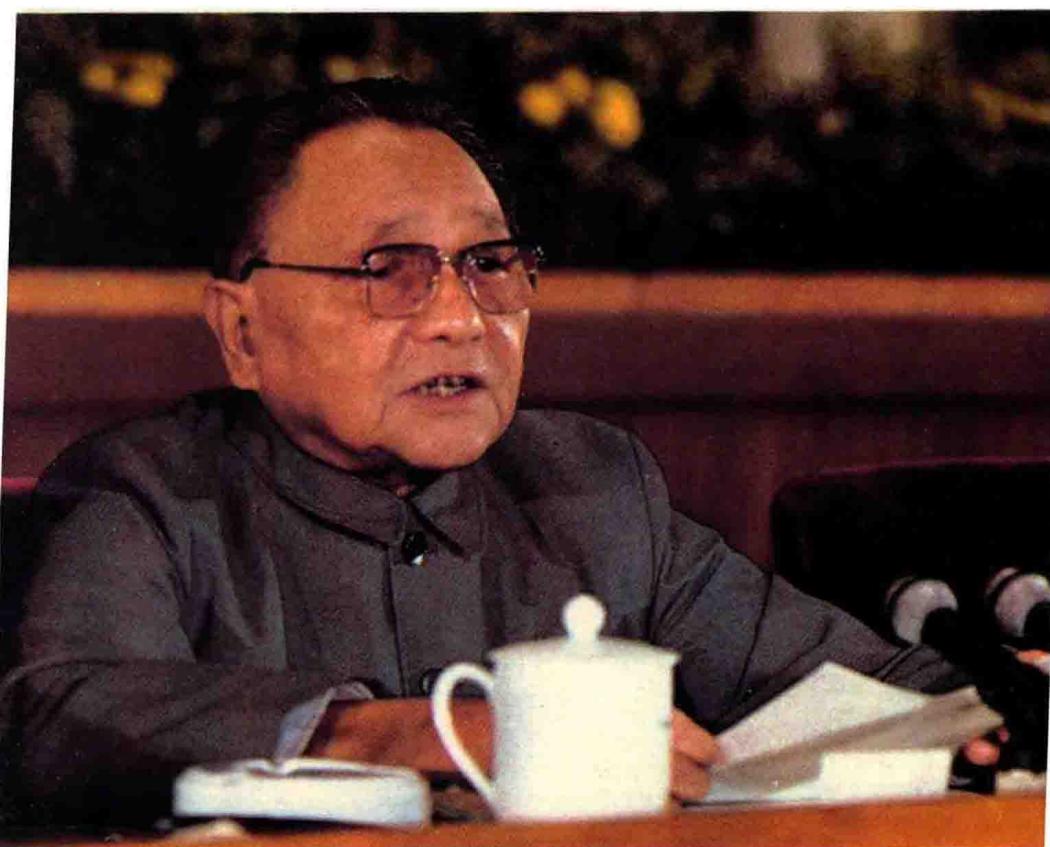
                  00815 (平)

I S B N 7-119-00256-2/D·13

I S B N 7-119-00358-5/D·23



1983年6月22日、陳雲（左1）、李先念（左3）、  
趙紫陽（左4）らの同志と語り合う鄧小平



1985年9月23日、中国共产党全国代表会議で講話する鄧小平



1987年4月、第六期全国人民代表大会第  
五回議の代表たちと握手する鄧小平

1984年1月24日、深圳の国際商業ビルの屋上  
から建設中の新しい羅湖区をながめる鄧小平





1984年12月19日、香港問題に関する中英両国政府共同声明の調印式に出席した鄧小平とイギリスのマーガレット・サッチャー首相

1984年10月1日、中華人民共和国成立35周年の祝賀式  
典で中國人民解放軍陸海空軍部隊を閱兵する鄧小平





1987年1月20日、ジンバブエのロバート・ムガベ首相と会見する鄧小平



1979年1月、ワシントンでアメリカの友好人士、米国在留華  
僑および中国系アメリカ人から熱烈な歓迎をうける鄧小平

1984年10月7日、中国科学院高エネルギー物理研究所の電子・陽電子衝突装置国家実験室(北京)の定礎をした鄧小平





1987年5月7日、ブルガリア共産党第一書記、国家評議会議長のトドル・ジフコフを招宴する鄧小平

1985年8月30日、北京の人民大会堂で日本のアジア交流協会  
顧問、日中経済協会常任顧問の岡崎嘉平太氏と会見する鄧小平





1982年5月1日、辺境地区少數民族青年參觀団の全員を接見した鄧小平

## 目 次

中国共産党第十二回全国代表大会開会のことば（一九八二年九月一日）	9
重要建設プロジェクトの実行と科学技術者の合理的的使用について（一九八二年十月十四日）	17
中国の特色をもつ社会主義の建設にすべての活動を役立てなければならない（一九八三年一月十二日）	23
頭脳開発を重視しよう（一九八三年三月二日）	29
社会主義の物質文明と精神文明の建設について（一九八三年四月二十九日）	33
この道は正しく、政策は変わらない（一九八三年六月十八日）	35
中國大陸と台湾との平和統一の構想について（一九八三年六月二十六日）	37
外国の頭脳を利用すべきである（一九八三年七月八日）	43
景山学校への題辞（一九八三年十月一日）	45
組織戦線と思想戦線における党のさし迫った任務（一九八三年十月十二日）	47

世界情勢安定のための新しい方法（一九八四年二月二十二日）

75

経済特別区の問題と対外開放都市増加の問題について（一九八四年二月二十四日） ..... 79

世界平和を守り、国内建設をりっぱにすすめる（一九八四年五月二十九日） ..... 85

一つの国に二つの制度（一九八四年六月二十二日、二十三日） ..... 89

中国の特色をもつ社会主義を建設する（一九八四年六月三十日） ..... 97

一国二制度の構想は役に立つ（一九八四年七月三十一日） ..... 107

中華人民共和国成立三十五周年祝賀式典におけるあいさつ（一九八四年十月一日） ..... 111

香港の繁栄と安定は維持される（一九八四年十月三日） ..... 115

四つの現代化達成の壮大な目標と根本政策（一九八四年十月六日） ..... 121

中央顧問委員会第三回総会における講話（一九八四年十月二十二日） ..... 131

革命も建設も独自の道を歩まなければならない（一九八四年十月二十六日） ..... 151

平和共存の原則には強大な生命力がある（一九八四年十月三十一日） ..... 155

軍隊は国家建設全体の大局に従わなければならない（一九八四年十一月一日） ..... 159

「一国二制度」は実状にもとづいて提起した構想である（一九八四年十二月十九日） ..... 165

平和と発展は現代世界の二大問題である（一九八五年三月四日）	173
一に理想、二に規律に依拠してこそ、団結できる（一九八五年三月七日）	181
政治面では民主を発展させ、経済面では改革を実行する（一九八五年四月十五日）	187
ヨーロッパとの経済的連係を強化する（一九八五年四月十八日）	197
ブルジョア自由化とは資本主義の道を歩むことである（一九八五年五月、六月）	199
世界平和を守るための具体的行動（一九八五年六月四日）	205
特別区の経済は内向型から外向型へ転換しなければならない（一九八五年八月一日）	207
改革は中国の生産力発展がかならず経なければならぬ道である（一九八五年八月二十八日）	209
中国共産党全国代表会議における講話（一九八五年九月二十三日）	219
中央政治局常務委員会における講話（一九八六年一月十七日）	235
経済状況の報告を聴取したさいの談話（一九八六年六月十日）	243
政治体制の改革と法意識の強化（一九八六年六月二十八日）	249
政治体制を改革しなければ、生産力の発展が妨げられる（一九八六年九月三日）	255
政治体制の改革には青写真がなくてはならない（一九八六年九月十三日）	259